

空気より軽い 12A・13A ガス用

家庭用・業務用兼用

ガス・CO警報器

品名 KN-82E, KN-82EH

型式名 JGN3BWEC

一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

取扱説明書 (保証書、設置工事説明書付)

本品をご採用いただきありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。なお、万一本書を紛失されたときは、お買い求めの販売店またはご契約のガス会社にお問い合わせください。この取扱説明書では、本品を「警報器」、一酸化炭素を「CO」と表記しています。

お客様用:p.3～p.25

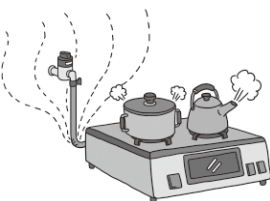
施工業者様用:p.26～p.37



TK4L0399_
6392828840

■ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。



《お断り》

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
- ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやCOには警報を発しますが、他の部屋で発生したガスもれやCOには警報を発しないことがあります。

もくじ

はじめに



■ 安全上のご注意	3
■ 対象ガス	5
■ 各部のなまえとはたらき	6
■ 警報器のお知らせ機能について	7

警報器が 作動したら



■ 赤(ガス警報)ランプが点滅 または 黄(CO警報)ランプが点滅したときの処置	9
■ 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と鳴ったときの処置	10
■ 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 と鳴ったときの処置	12
■ 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 が交互に鳴ったときの処置	14
■ 異常がないのに警報音が鳴ったりランプが点滅したときの処置	16
■ ランプ表示・警報音出力の事象一覧表	18

取り扱い かた



■ お手入れのしかた	19
■ 警報器の取り外し・取付方法	19
■ 噴霧式殺虫剤を使用するときは	21
■ 日常点検	22

その他



■ 故障かな？と思ったら	23
■ 仕様	24
■ アフターサービスについて	25

施工される方へ

1. 施工される方へのお願いとご注意	26
2. 取り付け前の確認	26
3. 取付方法	29
4. 取り付け後の点検	31
5. お客さまへの説明について	37

■安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示の内容



「必ず行う」事項を示しています。



「火気厳禁」事項を示しています。



「ぬれ手禁止」事項を示しています。



「水ぬれ禁止」事項を示しています。



「分解禁止」事項を示しています。



「一般的な禁止」事項を示しています。

⚠危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。



必ず行う

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



火気厳禁

マッチやライターなど、火気を使わないでください。



禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切をしないでください。



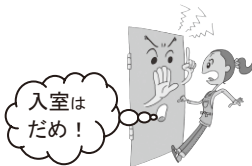
禁止

警報器を取り外さないでください。



禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。



⚠危険

CO警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。



必ず行う

CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。



⚠警告



必ず行う

常に電源が入っていること（緑（電源）ランプ点灯）を確認してください。

電源が入っていないと、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。



必ず行う

設置後、5年（有効期限）を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
誤動作または正常に作動しない恐れがあります。
有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。



必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。

（P. 21 ～ P. 22参照）

●警報器をポリ袋などで覆う。
●噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。

誤作動の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で警報器や取付ベースを触らないでください。

感電する恐れがあります。



水ぬれ禁止

警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。



分解禁止

分解や改造はしないでください。
故障の原因となります。

■安全上のご注意

⚠警告



禁止

衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。



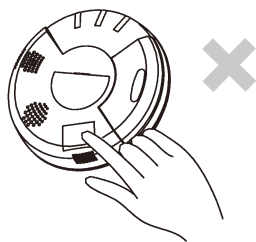
禁止

警報器をお手入れするとき以外
は、取付ベースから警報器を外
さないでください。
ガスもれ、COが発生しても、
警報を発しません。



禁止

ガス検知部やCO検知部は、絶
対にふさがないようにください。
ガスもれ、COが発生しても、
警報を発しません。



禁止

煙感知式住宅用火災警報器に用
いられる点検ガスでフロンガス
を主成分とする点検ガスは使用
しないでください。
フロンガスがガスセンサの故障
の原因になる場合があります。

⚠注意



必ず行う

警報器をお手入れするときは、必
ず警報器を取付ベースから取り外
してください。
感電やけがの原因となります。

※ 外部機器（インターホン等の集
中監視機器）と接続している場
合は、警報器を取付ベースから
取り外すと、外部機器で警報音
（故障警報）が鳴ることがあり
ます。



必ず行う

警報器の取り外し・取り付けを行
うときや、警報器をポリ袋で覆う
ときは、安定した踏み台を使い、
十分注意してください。
転落・転倒・落下によるけがの恐
れがあります。



禁止

取付位置を移動させないでくだ
さい。
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じた
ときは、お買い求めの販売店また
はご契約のガス会社にご相談くだ
さい。



禁止

警報器の前に物を置いたり、取り
付けたりしないでください。
警報の遅れの原因となります。



禁止

警報器の近くでラジオなどを使用
しないでください。
ラジオなどにノイズ（雑音）が入
ることがあります。
警報器から距離を離してお使い
ください。

■対象ガス

⚠注意

●この警報器は都市ガス（空気より軽い
12A・13Aガス）および燃焼排ガ
ス中のCOを検知します。

●都市ガス（空気より軽い12A・13A
ガス）供給区域以外では、お使いにな
らないでください。

■各部のなまえとはたらき

●緑（電源）ランプ

通常は点灯しています。
故障しているときに高速点滅し
ます。
※点滅時はP.8を参照ください。

●黄（CO警報）ランプ

COを検知すると点滅または
点灯します。
※点滅または点灯時は P.9、
P.12～P.13を参照ください。

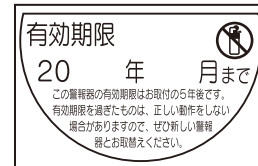
●CO検知部

COを検知します。

●赤（ガス警報）ランプ

ガスを検知すると点滅または
点灯します。
※点滅または点灯時は
P.9～P.11を参照ください。

●有効期限ラベル



●警報停止スイッチ

警報音を停止させたり、外部機
器との連動点検をしたりする際
に使用します。
※詳細は、P.16、P.31～P.32を
参照ください。

●警報スピーカ

ガス・COを検知すると音声
合成音が鳴ります。

●ガス検知部

都市ガスを検知します。

●製造番号シール

製品の製造年月と番号を
表示しています。

●電源端子

●外部出力信号端子 ⊕

●チェック端子

●外部出力信号端子 ⊖

●音声／ブザー切り替えスイッチ

電源投入前のスイッチ操作で、警報音の音声とブザーを切り替えます。
初期設定は音声設定になっていますので、ブザー設定を希望される場合は、
お買い求めの販売店またはご契約のガス会社までご連絡ください。

■ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点灯、点滅、高速点滅は次のように動作します。

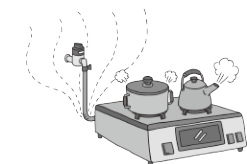
点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.5秒周期)	
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.25秒周期)	
ゆっくり点滅	点灯と消灯の繰り返し (4秒周期)	

■警報器のお知らせ機能について

ガスがもれたときは

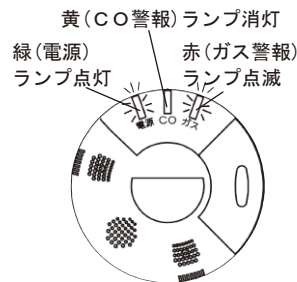
警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。

低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



注意報

P.9 参照

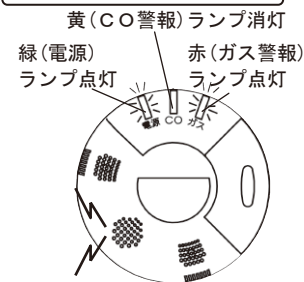


警報

P.10～P.11 参照

ウーウー ピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

ブザー設定: ウーウー ピッピッピッピッ

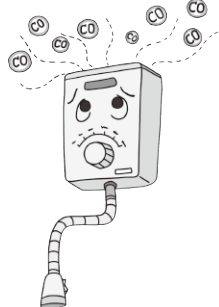


ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。

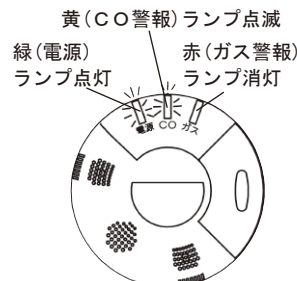
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。

(低濃度が5分間継続した場合も警報が作動します。)

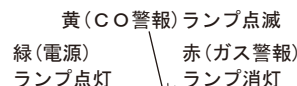


注意報

P.9 参照



約5分後

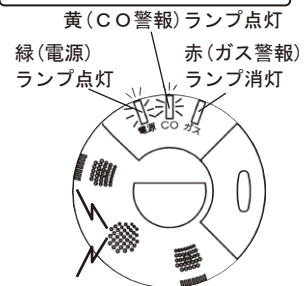


警報

P.12～P.13 参照

ウーウー ピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ブザー設定: ウーウー ピッポッピッポッ



ウーウー ピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ブザー設定: ウーウー ピッポッピッポッ

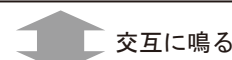
ガスもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。

P.14～15 参照

ウーウー ピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

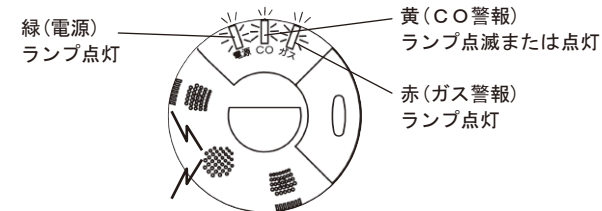
ブザー設定: ウーウー ピッピッピッピッ



ウーウー ピッポッピッポッ

空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください

ブザー設定: ウーウー ピッポッピッポッ



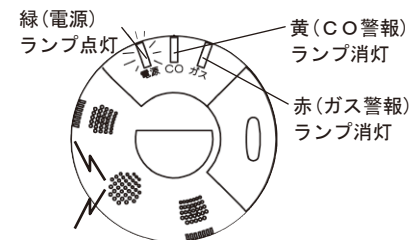
有効期限を過ぎたときは

有効期限を過ぎたときは以下のようにお知らせします。(具体的には有効期限+半年経過時点から)

- 警報停止スイッチを約5秒間押すと「ピッピッ 取り付け後5年経過しています」が鳴ります。
- 電源を再投入すると、60秒後に「取り付け後5年経過しています」が鳴ります。このとき「正常です」は鳴りませんが、正常動作は緑(電源)ランプ点灯により確認できます。
- KN-82EHの場合のみ、監視時にゆっくり点滅で期限切れを表示します。

※ お買い求めの販売店またはご契約のガス会社までご連絡ください。

ピッピッ 取り付け後5年経過しています



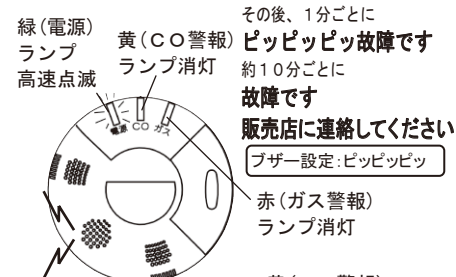
故障しているときは

故障が発生すると、以下のように動作します。

- ・「故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。
- ・その後「ピッピッピッ 故障です」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約10分ごとに、「故障です 販売店に連絡してください」が鳴ります。
- ・それ以降、同じ警報を繰り返します。

警報停止スイッチを押すと、警報音は鳴りやみます。ただし、緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。

故障です 販売店に連絡してください



※ お買い求めの販売店またはご契約のガス会社までご連絡ください。

■赤(ガス警報)ランプが点滅、または 黄(CO警報)ランプが点滅したときの処置

赤(ガス警報)ランプが点滅し、警報音が出ていないときは、ガス注意報です。
黄(CO警報)ランプが点滅し、警報音が出ていないときは、CO注意報(警報遅延中)です。

《お断り》

外部機器と連動している場合、
ガス注意報、CO注意報(警報遅延中)では外部機器は連動動作しません。

※黄(CO警報)ランプの点滅が約5分継続すると、
『ウーウーピッポピッポッ
空気が汚れて危険です 窓をあけて換気してください』と
鳴り始めます。

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、赤(ガス警報)ランプ、
黄(CO警報)ランプは消灯します。



2 原因を確認する。

ガス濃度やCO濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
(P. 16 参照)

■『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』

ブザー設定:ウーウーピッピッピッピッ

と鳴ったときの処置【赤(ガス警報)ランプ点灯】

警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

⚠危険

警報音が鳴っている間は、
以下の内容を必ず守ってください。

爆発の恐れがあります。

マッチやライターなど、
火気を使わない。



火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯など、
電気製品のスイッチを入・切しない。



禁止



警報器を取り外さない。



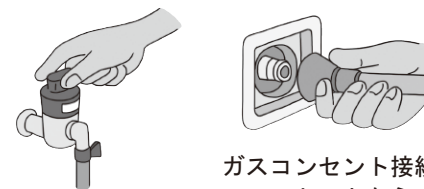
禁止



1 ドアや窓を開けて換気する。

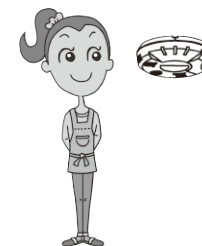


2 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、
ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。 【赤(ガス警報)ランプ消灯】



4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、
ゴム管の外れ、ゴム管の
亀裂、ガス機器の立ち消え
などが考えられます。



■『ウーウーピッポピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』

ブザー設定:ウーウーピッポピッポッ

と鳴ったときの処置

【黄(CO警報)ランプ点滅または点灯】

警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

⚠危険

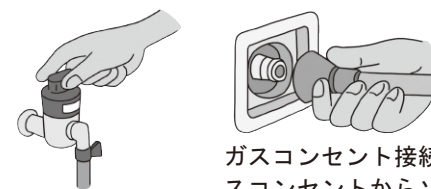
警報音が鳴ったら、
すぐに換気し、
使用中のガス機器を
止める。

CO濃度が上昇し、短時間
で生命に危険をおよぼす恐
れがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。

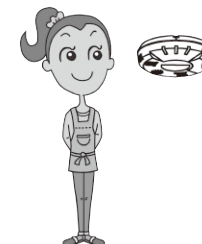


2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガ
スコンセントからソケットをは
ずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。 【黄(CO警報)ランプ消灯】



部屋の外から警報音に気づいたとき

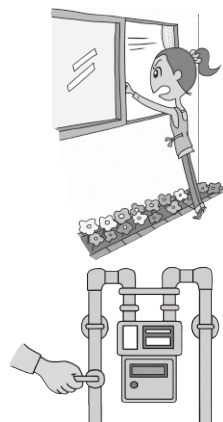
⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、すぐに入
室しない。

もれたガスの濃度が濃く
なっている場合が考えられ
ます。



1 部屋に入らない。 室外からドアや窓を開け られるときは、ドアや窓 を開けて換気する。



2 ガスメーター近くの メーターガス栓を閉め る。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプの消灯を確認 する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガ
スコンセントからソケットをは
ずしてください。

6 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、
ゴム管の外れ、ゴム管の
亀裂、ガス機器の立ち消
えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

<お願い>

たびたび警報音が鳴るとき
は、ガス機器の点検を受け
てください。

ガス会社へ連絡する。



部屋の外から警報音に気づいたとき

⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、
すぐに入室しない。
CO濃度が濃くなっている
ことがあり、短時間で生命
に危険をおよぼす恐れがあり
ます。



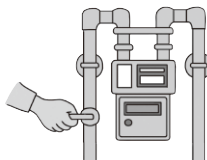
禁止



- 1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開け
られるときは、ドアや窓
を開けて換気する。



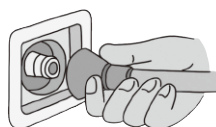
- 2 ガスメーター近くの
メーターガス栓を閉め
る。



- 3 COがなくなれば、警報音が鳴り止む。

- 4 部屋に入り、黄(CO警報)ランプの消灯を確認
する。

- 5 ガス栓や器具栓を閉める。



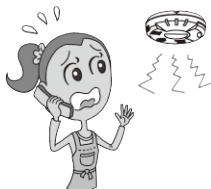
ガスコンセント接続の場合、ガ
スコンセントからソケットをは
ずしてください。

処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

<お願い>

たびたび警報音が鳴るとき
は、ガス機器の点検を受け
てください。
ガス機器以外の燃焼機器(石
油ファンヒーター、石油ス
トーブなど)が原因で鳴るこ
ともありますので、これら
の機器についても点検を受
けてください。

ガス会社へ連絡する。



■『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』

ブザー設定: ウーウーピッピッピッピッピッピッとウーウーピッポッピッポッ

が交互に鳴ったときの処置

【赤(ガス警報)ランプ点灯、黄(CO警報)ランプ点滅または点灯】

警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

⚠危険

警報音が鳴っている間は、
以下の内容を必ず守ってく
ださい。
爆発やCO中毒の恐れがあ
ります。

マッチやライターなど、
火気を使わない。



火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯な
ど、電気製品のスイッチ
を入・切しない。



禁止



警報器を取り外さない。



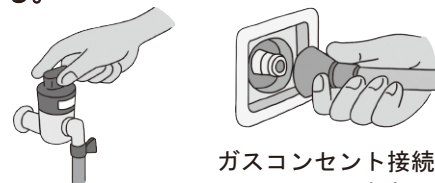
禁止



- 1 ドアや窓を開けて換気する。



- 2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉
める。



ガスコンセント接続の場合、ガ
スコンセントからソケットをは
ずしてください。

- 3 ガスやCOがなくなれば、
警報音が鳴り止む。
【赤(ガス警報)ランプ・
黄(CO警報)ランプ消灯】



- 4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、
ゴム管の外れ、ゴム管の
亀裂、ガス機器の立ち消
えなどが考えられます。



部屋の外から警報音に気づいたとき

⚠危険

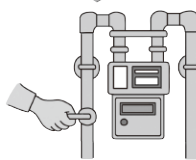
警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**
爆発やCO中毒の恐れがあります。



1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



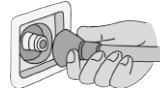
2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。



3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴り止む。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

＜お願い＞

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。
ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

ガス会社へ連絡する。



■異常がないのに警報音が鳴ったりランプが点滅したときの処置

ガスやCO以外の空気の汚れで、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったとき

＜警報音を止めたいとき＞

警報停止スイッチを押すと

- ガス警報の警報音は1回だけ5分間止めることができます。
- CO警報は、黄(CO警報)ランプが点滅し、CO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ5分間止めることができます。

※警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。

※外部機器と接続していて、かつ警報器周囲のガスが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

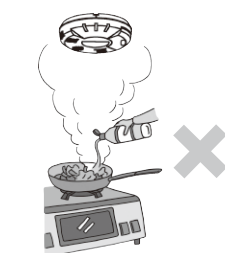


2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まる。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉めきられていた部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ない部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分〔シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス（エアコンの冷媒ガスなど）〕の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材等から発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。



＜ガス警報・CO警報＞

- スプレー式の殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 濃厚なタバコの煙を警報器にふきかけた場合。
- 芳香剤、香油（アロマオイル）等の濃いガスがかかった場合。
- 線香の濃い煙がかかった場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合。
- アルコール類やくん煙式・くん蒸式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用したとき。
- 長期間部屋が閉めきられていた場合。
- 焼き魚の煙等がかかった場合。
- みりんや酢などの調味成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
- 可燃性のガスを使用した場合。
- 警報器の電源電圧が、通常の電圧範囲外の場合。
通常の電圧範囲はDC 17V～35Vです。

※以下の場合、ガスもれやCOで警報しており、誤報ではありません。

- 給湯器を使用中、換気が十分でないとき。
- ガスコンロの着火ミスがあったとき。
- 自動車の排気ガスが室内にこもったとき。
- 炭火や練炭（れんたん）を使用したとき。

＜お願い＞

ガスもれやCO発生ではなく、空気がよごれた場合などに、赤（ガス警報）ランプ・黄（CO警報）ランプが点滅または点灯したり警報器が鳴ったりする場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器を取り外さないでください。

■ランプ表示・警報音出力の事象一覧

ランプ			音声	表現している事象	対処方法 記載ページ
緑 (電源)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)			
●	○	○	なし	通常動作(監視中)	—
●	○	◎	なし	ガス注意報	P. 9
●	○	●	ガス警報音「ウーウーピッピッピッ」 ガスがもれていませんか」 ブザー設定:「ウーウーピッピッピッ」	ガス警報	P. 10, 11
●	◎	○	なし	CO注意報(遅延中※1)	P. 9
●	◎	○	CO警報音「ウーウーピッポッピッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」 ブザー設定:「ウーウーピッポッピッポッ」	CO注意報(遅延後※2)	P. 12, 13
●	●	○		CO警報	
●	◎	◎	なし	ガス注意報と CO注意報(遅延中※1)	P. 9
●	◎	◎	CO警報音「ウーウーピッポッピッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」 ブザー設定:「ウーウーピッポッピッポッ」	CO注意報(遅延後※2)と ガス注意報	P. 12, 13
●	●	◎		CO警報と ガス注意報	
●	◎	●	ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ」 ガスがもれていませんか」 ブザー設定:「ウーウーピッピッピッピッ」	ガス警報と CO注意報(遅延中※1)	P. 10, 11
●	◎	●	ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ」 ガスがもれていませんか」と CO警報音「ウーウーピッポッピッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」を交互に発声 ブザー設定:「ウーウーピッピッピッピッ」と 「ウーウーピッポッピッポッ」の交互音	ガス警報と CO注意報(遅延後※2)	P. 14, 15
●	●	●		ガス警報と CO警報	
高速点滅	○	○	故障警報音※3 「故障です 販売店に連絡してください」(10分ごと) 「ピッピッピッ故障です」(1分ごと)	故障警報(警報器が故障 診断機能で故障と判断 した状態)	販売店またはご契約のガス会社に連絡してください
● または ゆっくり 点滅	○	○	有効期限切れ音声 「ピッピッ取り付け後5年経過しています」 ※警報停止スイッチを押した場合	有効期限切れ(警報器の 有効期限が半年以上 過ぎた状態) ＜緑ランプ表示＞ ・KN-82E:点灯 ・KN-82EH:ゆっくり点滅	

●:点灯 ◎:点滅 ○:消灯

※1:CO注意報成立から約5分以内は、CO警報音は発報しません(遅延中)。

※2:CO注意報成立が約5分間継続すると、CO警報音を発報します。

※3:故障したときは、上記以外の警報音を発する場合があります。

この場合、お求めの販売店またはご契約のガス会社にご連絡ください。

■お手入れのしかた

1. 警報器を取り外してください。
(P.19 参照)
2. 警報器および取付部付近の天井面の汚れをふき取ってください。
3. お手入れが完了したら警報器を取り付けてください。
(P.20 参照)

警報器をお手入れされるときは、下記に注意して行ってください。

＜お願い＞



必ず行う

お手入れをされる場合は、布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからよごれを拭き取ってください。



水または石けん水



禁止

お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。



禁止

警報器のお手入れには、中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。

中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤ランプが点滅したり、警報音声が届きやまないことがあります。



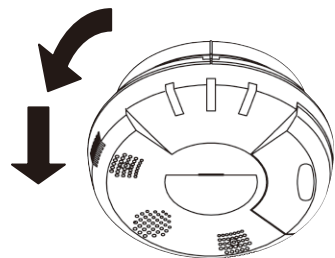
■警報器の取り外し・取付方法

＜取り外し方＞

警報器を左（反時計回り）に回し、止まったところで警報器を下に引いて外してください。

《お断り》

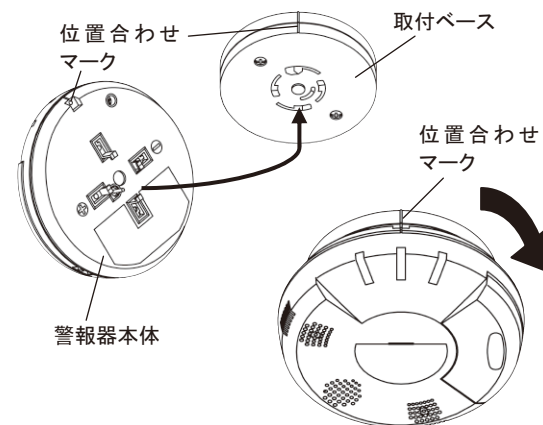
外部機器（インターホン等の集中監視機器）と接続されている場合は、警報器を外すと、外部機器で警報（故障表示）が鳴る場合があります。



＜取り付け方＞

警報器本体を取付ベースに合わせ、止まる位置まで右に回して固定してください。

※取付ベースの位置合わせマークに警報器のマークを合わせ、取付ベース側の溝に警報器の電極を挿入してください。



＜確認＞

警報器が確実に固定されていることを確認してください。

＜警報器の動作＞

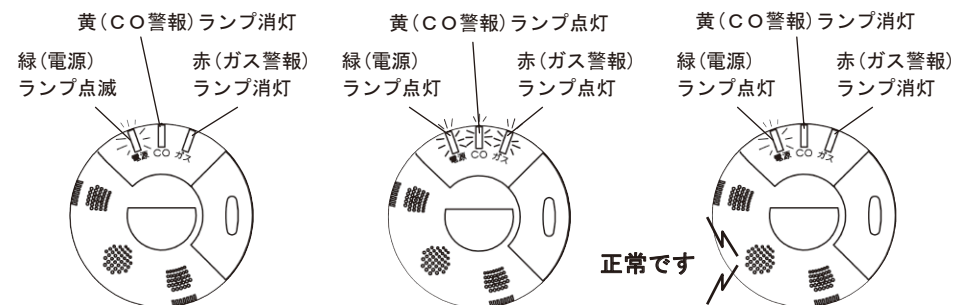
通電を開始すると

電源に接続してから約 1 分後

- ① 緑（電源）ランプが点滅し、警報器が監視を始める準備状態になります。
(約 1 分間)

- ② ランプが全点灯した後、全消灯します。
※ 過去約 10 日以内に警報が作動した場合は、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約 1 秒間点灯します。これは、鳴動原因表示機能によるものです。
(P. 36 参照)

- ③ 「正常です」と発報し、緑（電源）ランプが点灯し、監視状態に入ります。
警報器が故障している場合、または警報器の有効期限切れの場合は、「正常です」とは鳴らず P. 8 記載の故障発生時または有効期限切れ時の動作となります。
※ 故障または有効期限切れの場合は、販売店またはご契約のガス会社までご連絡ください。



■噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器の鳴り出し防止に効果があります。

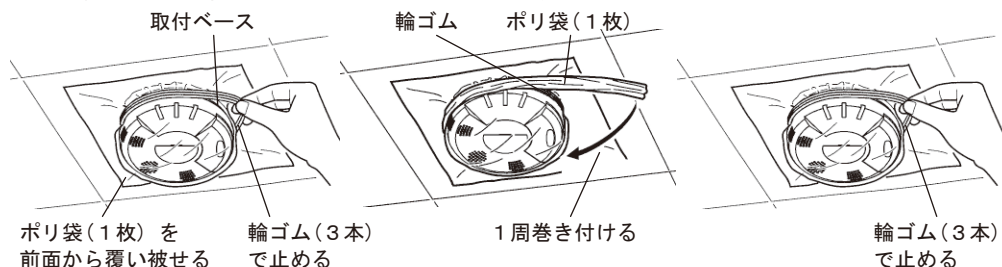
天井面の素材が粘着テープによって傷む恐れのあるとき

＜用意していただくもの＞

- ・ポリ袋（35cm×35cm、2枚）ポリプロピレン（ または >PP< 表示）
※ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・輪ゴム（6本）

＜処置のしかた＞

- 1 警報器の取付ベースに、ポリ袋（1枚）を輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。
- 2 輪ゴムを止めたポリ袋の上から、取付ベースに沿ってポリ袋（1枚）を1周巻き付け、輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。



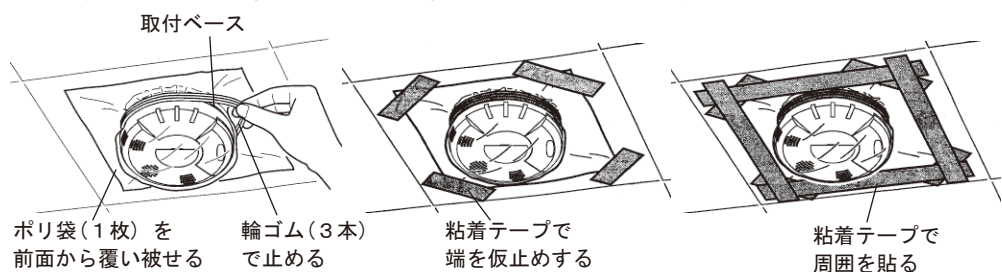
天井面の素材が粘着テープによって傷む恐れのないとき

＜用意していただくもの＞

- ・ポリ袋（35cm×35cm、1枚）ポリプロピレン（ または >PP< 表示）
※ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・輪ゴム 3本
- ・粘着テープ（養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに天井面を傷めないテープを選んでください。）

＜処置のしかた＞

- 1 警報器の取付ベースに、ポリ袋（1枚）を輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。
- 2 ポリ袋の端を粘着テープで天井面に貼り付けてください。
- 3 ポリ袋の周囲を粘着テープで天井面に貼り付けてください。
ポリ袋と天井面の間に隙間ができないように粘着テープを貼ってください。
特にポリ袋がしわになっている部分に注意してください。



⚠警告



必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず換気を行い、忘れずにポリ袋を取り外してください。



禁止

警報器を取付ベースから取り外さないでください。

警報器を取り外し、ポリ袋で覆わずに、噴霧式殺虫剤を使用される部屋に放置すると、噴霧が終わって警報器を取り付けたときに、センサに吸着した噴霧ガスの影響で、警報器が鳴りだすことがあります。また、警報器の信号が外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続されていて、警報器を取り外した場合、外部機器で警報（故障表示）が鳴ることがあります。

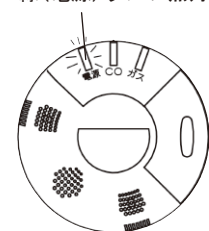
＜お願い＞

- 警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。
- ポリ袋で覆っても、次のような場合は警報器が鳴る場合があります。念のため、事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤の使用をご連絡しておいてください。
 - (1)ポリ袋と天井面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。
 - (2)部屋の広さに対して極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。
 - (3)警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。
（ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため）
 - (4)経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

■日常点検

- 日常、緑（電源）ランプが点灯していることを確認してください。
本機は故障診断回路が働いており、電氣的に正常稼働を確認した場合に緑（電源）ランプが点灯する仕組みになっております。
※緑（電源）ランプが消灯もしくは高速度点滅している場合は、警報器の故障が考えられますので、お買い求めの販売店またはご契約のガス会社まで連絡してください。
（P.23「故障かな？と思ったら」を参照ください。）

緑（電源）ランプ点灯



⚠注意

ポリ袋の取り付け、取り外しは、高いところでの作業となります。しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。

警報器を左（反時計回り）に回さないでください。

取付ベースから外れて、落下する恐れがあります。

■故障かな？と思ったら

状態	確認のポイント	処置
●緑(電源)ランプが消灯している。 ●警報器が正常であるにもかかわらず、外部機器が鳴る。	警報器が取付ベースにしっかりとはめ込まれていますか。 電源ブレーカが切れていませんか。 停電していませんか。	警報器を取付ベースにはめ込んでください。 ブレーカを入れてください。 停電でなければ、警報器の故障もしくは取付ベース内の断線、誤配線などが考えられるため、お買い求めの販売店またはご契約のガス会社に連絡してください。
警報器が温かい。	—	通電によりセンサ部を加熱しているため、異常ではありません。
緑(電源)ランプが高速点滅している。	警報器の故障を知らせています。	お買い求めの販売店またはご契約のガス会社に連絡してください。
ガスもれ、COの発生がないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.16 参照) ガス機器の異常が考えられます。 ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	ドアや窓を開け、しばらく換気をしてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。 鳴り止まない場合は、お買い求めの販売店またはご契約のガス会社に連絡してください。 ガス機器の点検を受けてください。 それらの機器の点検を受けてください。
取り付けたときに、赤ランプや黄ランプが1秒間点灯する。	10日以内に警報を発していませんか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.36 参照)
緑(電源)ランプがゆっくり点滅している。 取り付けたときや、警報停止スイッチを5秒以上押したときに「ピッピッ取り付け後5年経過しています」と鳴る。	警報器の有効期限ラベルに記載されている有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、お買い求めの販売店またはご契約のガス会社にご連絡のうえ、新しい警報器にお取り替えください。(P.8 参照)

■仕様

項目	仕様			
ガス警報機能・CO警報機能	検知対象ガス	都市ガス (空気より軽い12A・13Aガス用)		燃焼排ガス中のCO
	警報ガス濃度	ガス注意報	爆発下限界濃度*の約1/100	CO注意報 CO濃度 50~300ppm
		ガス警報	爆発下限界濃度*の1/4以下	CO警報 CO濃度 550ppm以下
	検知方式	接触燃焼式		半導体式
	警報方式	ガス注意報	赤ランプ点滅 (自動復帰式)	CO注意報 黄ランプ点滅 約5分経過後 音声合成音 (自動復帰式)
		ガス警報	赤ランプ点灯 音声合成音 (自動復帰式)	CO警報 黄ランプ点灯 音声合成音 (自動復帰式)
	応答時間	60秒以内		CO注意報 10分以内 CO警報 5分以内
共通仕様	外部出力信号※	監視時 DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V		
		警報時 DC12V	警報時 DC6V	
	警報音量	70dB/m		
	電源	DC24V (許容電圧範囲:17V~35V)		
	消費電力	監視時 約1.5W 警報時 約2.2W		
	使用温度範囲	0℃~+50℃(結露しないこと)		
	寸法・質量	φ120×奥行き31.5mm、約155g		
	取付方法	取付ベース(別売品)、回転引掛式		
	付属品	取扱説明書 1部、保証書 1部		

*爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界濃度といって、最高濃度を爆発上限界濃度、最低濃度を爆発下限界濃度といいます。

※マイコンメーターと接続して使用する場合は、別売りの警報器アダプターが必要になります。

■アフターサービスについて

- この警報器は、5 年間の無償保証です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取替えいたします。ただし、保証書裏面記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、お取付後 5 年間です。有効期限とは警報器の所定の性能を維持できる期限であり、5 年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがあります。ぜひ新しい警報器とお取替えください。
- 保証書に取り付け年月および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取り付け時にご確認ください。
- 保証を受けられる場合は保証書のご提示が必要です。保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明な点がありましたらお問い合わせの販売店またはご契約のガス会社にご連絡ください。
- 引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店またはご契約のガス会社までご連絡ください。

1. 施工される方へのお願いとご注意

⚠ 注意

- 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取り扱いには注意してください。

⚠ 警告

- お客さまに、この警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。 **！ 必ず行う**
- お客さまへ引き渡す前に、必ずお客さま立会いのもとで本書記載の各種点検を実施してください。（P. 31～P. 36参照）
万一、作動不良があった場合は交換してください。 **！ 必ず行う**
外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。
- 取り付け、点検が終わってから、「警報器の説明」「警報時にとるべき処置」についてお客さまに説明してください。（P. 37参照） **！ 必ず行う**

お願い

- 有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について
・ 一般廃棄物として処理しないで、産業廃棄物として処理してください。
・ 本品には一般廃棄物として焼却処理した場合有害ガスが発生する恐れのある材料が含まれています。決められた処理ルートがある場合は、それに従ってください。

2. 取り付け前の確認

2-1. 警報器の確認

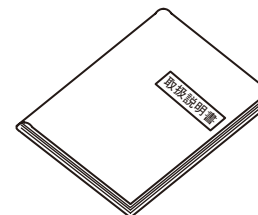
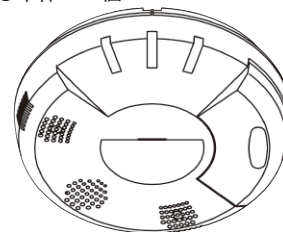
⚠ 注意

- 取り付ける警報器が、空気より軽い 12A・13A ガス用（CO 警報機能付）であり、本体に異常のないことを確認してください。 **！ 必ず行う**

2-2. 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

- 本体：1 個
- 取扱説明書（保証書付）：1 冊



2-3. 音声警報／ブザー警報の切り替え方法

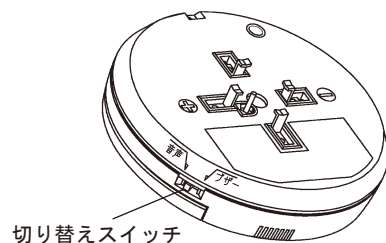
- 警報器は、音声またはブザー音に切り替えることができます。
- 出荷時は音声警報になっています。必要に応じて切り替えることができますので、お客様に確認してください。

音声警報音：警報器側面の切り替えスイッチを「音声」側にすると音声になります。

ブザー警報音：警報器側面の切り替えスイッチを「ブザー」側にするとブザー音になります。

《ご注意》

スイッチの切り替えは、電源をOFFにして行ってください。電源ON時に切り替え操作しても警報音は切り替わりません。



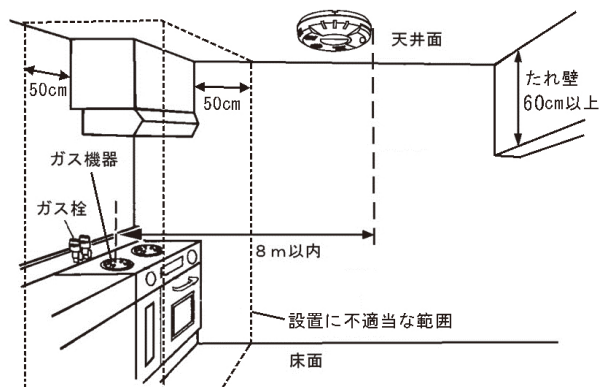
2-4. 取り付け位置の確認

- 設置場所の選定についてはお客さまとよく相談して決めてください。
- 取り付け位置を決めるときは、次のことをよく確認してください。

⚠ 注意

- ガス、COを検知しようとするガス機器等を設置している場所と同一の室内に設置してください。 **❗ 必ず行う**
- もれたガスやCOが滞留しやすい位置で、緑（電源）ランプが確認しやすく、容易に点検できる位置にお取り付けください。 **❗ 必ず行う**
- ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用するガス機器の場合は、ガス栓）から、水平距離で8m以内になるように取り付けてください。 **❗ 必ず行う**
- アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取り付けないでください。 **⊘ 禁止**
- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器側に取り付けてください。 **❗ 必ず行う**

取付例



※取り付けおよび取り付け位置の移動は、販売店またはご契約のガス会社におまかせください。

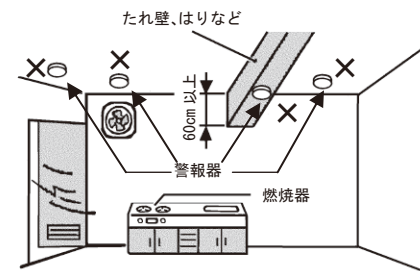
⚠ 注意

警報器を以下の場所には絶対に取り付けしないでください。
次のような取り付け方は、警報遅れや誤報、故障などの原因になります。

- 換気扇、吸気口、ドア付近など風通しのよいところ、すき間風の入るところ。
- 60cm以上のたれ壁で区切られているところ。
- 30cm以上（警報器含む）のたれ壁などの下。
- エアコン等の吹き出し口の近く。

⊘ 禁止

警報が遅れることや、検知できないことがあります。



- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙など、または調理用アルコールが直接かかるところ。

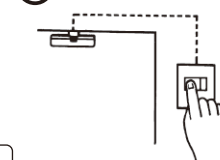
⊘ 禁止



センサ寿命の低下や誤報の原因になります。

- ビルの給湯室などで夜間電源を切るところ。使用時しか電源を入れないところ。

⊘ 禁止



警報器としての機能を果たしません。

- カーテンウォール等で仕切られているところ。

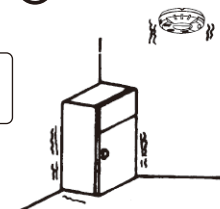
⊘ 禁止



警報が遅れます。

- 振動、衝撃の激しいところ。

⊘ 禁止



センサ故障の原因になります。

- 浴室や水のかかる場所や水滴のつくところ。

⊘ 禁止



感電や電氣的故障の原因になります。

- 温度が0℃～+50℃の範囲をこえるところ。

⊘ 禁止



警報器としての機能を果たしません。誤作動の原因になります。

- 屋外

⊘ 禁止

屋外用ではありません。

- 工業用

⊘ 禁止

家庭用・業務用です。工業用ではありません。

3. 取付方法

3-1. 取付ベース（別売品）の取り付け・配線

取付ベース付属の取付説明書にしたがって取り付けてください。

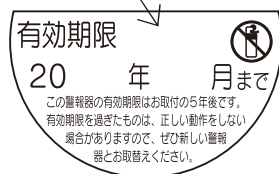
⚠ 注意

- 誤結線すると内部回路が破損します。誤結線しないように注意してください。
- 警報器設置台数は、警報器に供給する電源容量以下になるようにしてください。
(電源容量の目安：1台あたり100mA)

3-2. 有効期限の記入

この警報器の有効期限は取り付け後5年間です。
必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限ラベル」に、有効期限の年月を記入してください。

有効期限ラベル



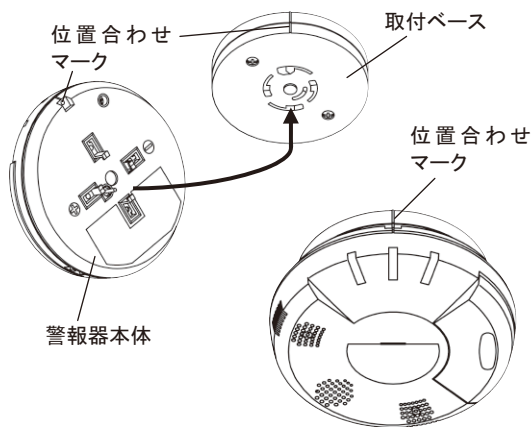
3-3. 警報器の取り付け

警報器本体を取付ベースに合わせ、止まる位置まで右に回して固定してください。

※取付ベースの位置合わせマークに警報器のマークを合わせ、取付ベース側の溝に警報器の電極を挿入してください。

<確認>

警報器が確実に固定されていることを確認してください。



3-4. 外部機器と接続する場合

⚠ 注意

- 外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
- ガスの外部出力は有電圧出力ですので、外部機器と接続する場合は極性に注意してください。
- 3線式配線は、配線抵抗による影響で監視時にガス警報信号を受信する恐れがありますので避けてください。

■外部機器との連動対応表

上段 ○：連動可能

×：連動不可

△：警報器アダプターが必要

下段 警報音が鳴りはじめてから各機器が作動するまでの遅延時間の例です。

この遅延時間は、機器によって異なります。

外部装置	警報の種類 外部出力信号	警報時の動作	ガス	CO
			DC12V	DC6V
戸外ブザー		警報音が鳴ります	○	×
			約4.5秒	
マイコンメーター		ガスを止めます	△	×
			約4.5秒	
住宅情報盤		警報表示および 警報音が鳴ります	○	×
			約4.5秒	
遮断弁操作盤類		ガスを止めます	○	×
			約4.5秒	
集中監視盤		警報表示および 警報音が鳴ります	○	×
			※	

※ 機器の設定により、遅延時間が異なります。

● 上記の外部機器との接続には、別途ケーブルが必要になります。

⚠ 注意

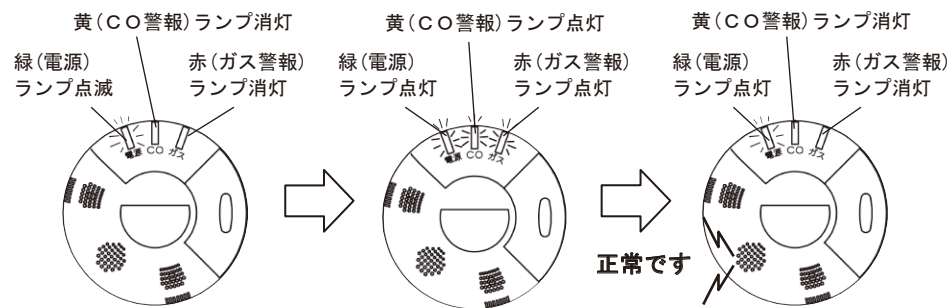
- 外部出力には極性がありますので、外部機器と接続する場合はご注意ください。
- 住宅情報盤および集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書と保証書に基づいて行ってください。
- 本警報器はCO警報出力を行いません。
- 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書でご確認ください。
- 外部連動については、販売店またはご契約のガス会社にご相談ください。
- マイコンメーターと連動する場合は、警報器アダプター（別売品）をご使用ください。

4. 取り付け後の点検（お客さま立ち会いのもとで実施）

この警報器は、通電開始後自動でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しております。「自動初期点検機能の確認」を行ってください。続けて「警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認」も行ってください。状況により「警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認」ができない場合は、お客さまに取扱説明書で鳴動内容を説明してください。通常「作動点検」は不要ですが、お客さまから作動確認の要望があった場合は、「作動点検」を行ってください。

4-1. 自動初期点検機能の確認

警報器本体を取付ベースに取り付けます（電源投入）。緑（電源）ランプが点滅し、約1分後に全てのランプが「消灯→点灯→消灯」の順に表示が切り替わります。このとき、警報器が正常であれば「正常です」と音声を出します。万一異常があれば、「故障です、販売店に連絡してください。」と音声を出しますので、この場合は警報器の交換をお願いします。自動初期点検が終わると、緑ランプは点灯に変わります。



※ 緑ランプが点滅している間は、作動点検は行わないでください。

4-2. 警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認

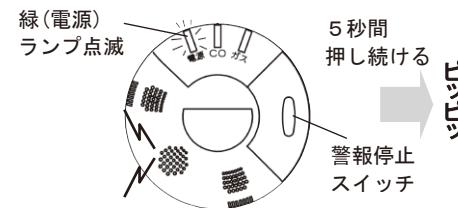
⚠警告

- 点検時、決してライター等の炎を使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒をしてけがをする恐れがあります。

⚠注意

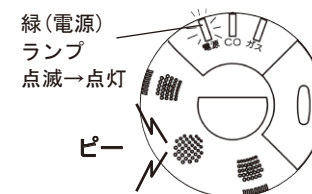
- 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰作業を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

- ① 警報停止スイッチを約5秒間押すと、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。（緑（電源）ランプが点滅開始）
- ② 警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。



動作順	鳴動内容		ランプ			有電圧出力 (12V)
	音声設定時	ブザー設定時	緑 (電源)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	
1	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ウーウー ピッピッピッピッ	点滅		点灯	ON
2	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	ウーウー ピッポッピッポッ	点滅	点灯		ON
3	無音		点滅	点灯	点灯	ON

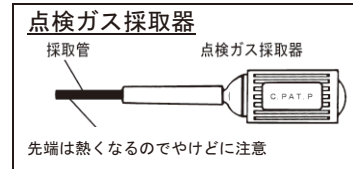
- ③ 約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。
※ 1分以内に連動確認を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。



4-3. 作動点検の方法

＜準備するもの＞

- 点検ガス採取器（別売品）
- テーブルコンロなど炎からガスを採取できるもの



⚠注意

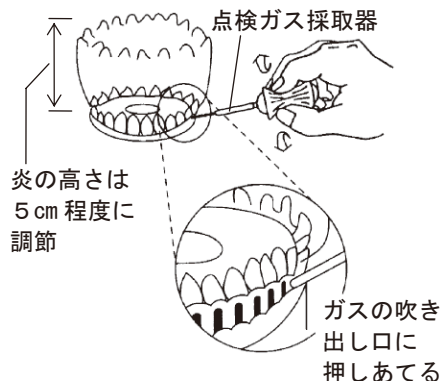
- アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス（生ガス）は、使用しないでください。センサの異常・故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかったりすることがあります。

＜お願い＞

この警報器はCO警報の作動点検をスムーズに行うため、通電初期の鳴動防止時間（1分間）経過後の3分間（通電開始から4分後まで）に限り採取ガスに対して反応しやすい状態になっています。必ずその間に作動点検を行ってください。上記時間を過ぎると、点検用の採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は警報器を取付ベースから取り外し、再度取り付けてから行ってください。また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されますので、ご注意ください。

■ ガス警報機能の作動点検方法

- ① 周囲に引火物の無いことを確認してからガスコンロを点火し、炎の高さを約5cmに調整してください。
炎が小さいと、ガスを採取しにくくなります。
ガスコンロの種類により、炎の高さが5cmに調整できない場合は、コンロの火力を最大にしてください。



＜注意＞

ガス警報点検の場合とCO警報点検の場合とでガスの採取位置が異なります。

- ② 点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮し、採取管の先端をガスコンロのガスの吹き出し口（炎の根元部分）に持っていきください。
- ③ 容器の圧縮をゆっくり（3秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引してください。
長時間加熱すると、ガス採取器が破損する場合がありますのでご注意ください。

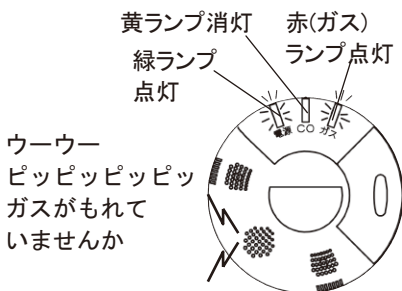
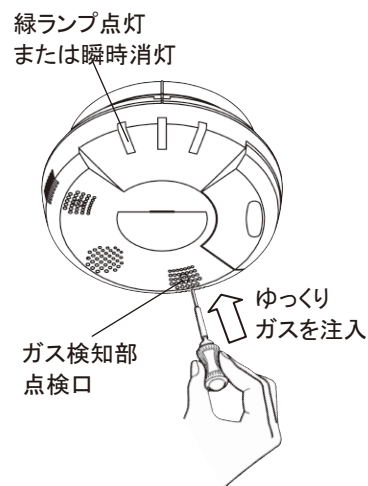
- ④ 採取が終わったら、速やかに採取管を炎から離し、コンロの火を消してください。
- ⑤ 採取管の先端部の温度が下がるまで（約30秒程度）待ちます。
採取管の先端部分を警報器のガス検知部の点検口に軽く押し当てて、容器を圧縮し採取ガスをゆっくり（3秒程度）注入します。

- ⑥ 赤ランプが点灯し、ガス警報音が鳴ります。
・音声に設定の場合：
「ウーウー ピピピピピピッ
ガスがもれていませんか」
・ブザーに設定の場合：
「ウーウー ピピピピピッ」
ガス濃度が低い場合は、赤ランプが点滅します。

- ⑦ ガスがなくなると、赤ランプが消灯します。

＜注意＞

警報器は、自動初期点検機能から3分の間にガス警報を行うと、警報解除後もこの時間中、12Vの有電圧出力を保持します。
外部機器との連動時はご注意ください。



⚠ 警告

- 採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。 ㊞ 禁止

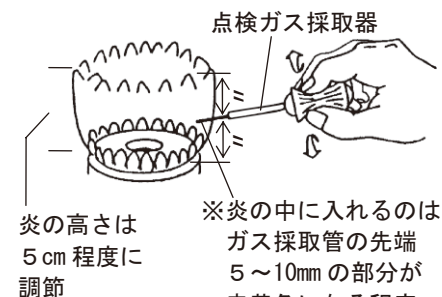
⚠ 注意

- 炎から取り出した直後のガス採取管の先端は非常に熱くなっていますので、絶対に触らないでください。 ㊞ 禁止
- 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動点検を行う場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

※ 点検ガスの注入から警報を発するまでに、時間差があります。連続して採取ガスをかけ続けると、警報器がなかなか鳴りやまない場合があります。
※ 点検作業中、黄ランプが点滅する場合がありますが、正常ですので作業を続けてください。

■ CO警報機能の作動点検方法

- ① 周囲に引火物の無いことを確認してからガスコンロを点火し、炎の高さを約5cmに調整してください。
炎が小さいと、ガスを採取しにくくなります。
ガスコンロの種類により、炎の高さが5cmに調整できない場合は、コンロの火力を最大にしてください。



- ② 点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮し、採取管の先端を外炎の中央部に持っていきください。

- ③ 容器の圧縮をゆっくり（3秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引してください。
長時間加熱すると、ガス採取器が破損する場合がありますのでご注意ください。

- ④ 採取が終わったら、速やかに採取管を炎から離し、コンロの火を消してください。

＜注意＞

CO警報点検の場合とガス警報点検の場合とでガスの採取位置が異なります。

5. お客さまへの説明について

お願い

- お客さま立会いのもとで点検が終わったら、必ずお客さまに以下の説明を行いご理解を得てください。 **❗必ず行う**

5-1. お客さまへのご説明内容

1. 警報動作と自動初期点検結果および警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認結果の説明。
作動点検をした場合は、作動点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、取扱説明書・保証書保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要機能の説明と確認。
 - (1) ガス警報の内容〔赤ランプ点灯、警報音声の確認〕と警報時にとるべき措置の説明。
(p. 10～11参照)
 - (2) CO警報の内容〔黄ランプ点滅または点灯、警報音声の確認〕と警報時にとるべき措置の説明。
(p. 12～13参照)
 - (3) ガス・COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明。(p. 14～15参照)
 - (4) 部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとりべき措置について。
(p. 11, 13, 15参照)
 - (5) 誤報が発生する場合について。(p. 16～17参照)
 - (6) 警報停止スイッチの説明。(p. 8, 23, 31～32参照)
 - (7) 日常点検方法の説明。(p. 22参照)

5-2. お客さまへの周知事項

1. 警報器の有効期限（本体貼付のシールに表示）と保証期間。
2. 警報器の移設禁止。移設依頼の連絡先。
3. 警報器の分解禁止。
4. 引越し時の措置。
5. 故障・異常時の連絡先。

＜保証の適用除外＞

保証期間内においても、次の場合は点検または取り替えは有償となります。

1. 点検の結果、警報器に異常が認められない場合。
2. 取扱説明書に基づかない使い方をし故障または損傷した場合。
3. 火災・天災・異常電圧・異常温度等の不可抗力による故障または損傷。
4. お客様が警報器を移動して、取付位置が浴室・屋外・高温多湿等不適当な場所および取付基準に定める位置以外の場所で使用した場合。
5. おもとめ後の取付位置の移動・落下等により故障または損傷した場合。
6. おもとめ後、分解・改造された場合。
7. ガス会社が供給するガス以外に使用した場合。
8. 水や煮こぼれ等の、または動・植物により故障または損傷した場合。
9. 保証書の提示がない場合。

＜点検記録＞

年月	内容	サービス員印	年月	内容	サービス員印

＜お客様へ＞

1. 保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
2. この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
3. 取付日、ご使用者名、お支払者名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合は無効になります。
4. 保証期間内のサービス活動および安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

販売店		扱者

保証履行者
(発売元)
および
保証責任者
(製造元)

富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
(ゲートシティ大崎イーストタワー)

ガス・CO警報器

保証書

型式名	JGN3BWEC
-----	----------

No. _____

品名 KN-82E, KN-82EH

本品をご採用いただきありがとうございます。

この保証書は、都市ガス供給区域内において、ガス会社が供給する都市ガス用として警報器をご使用になる場合、本証書の記載内容にて無料点検または無料取り替えをお約束するものです。

記

1. 保証期間は、取付日から5年間とし警報器本体を対象にします。
2. 保証期間中に万一故障した場合は、本証書をご提示の上お求めの販売店もしくはご契約のガス会社にお申し出ください。
3. 取扱説明書に基づく正常な使用状態で、誤作動等の異常が認められた場合には、お申し出に基づき無料にて出張の上点検いたします。
4. 取扱説明書に基づく正常な使用状態で、製造上の責任による故障の場合は、無料にてお取り替えいたします。
5. 保証期間内でも裏面に記載してある事項の場合には、有料点検もしくは有料取り替えとなります。
6. 無料取り替えなどアフターサービス等についてご不明の場合は、お取り付けの販売店またはご契約のガス会社にお問い合わせください。

お取付日	年 月 日
------	-------

ご使用者	お名前
	様
	ご住所
お支払者	〒 TEL () -
	お名前
	様
お支払者	ご住所
	〒 TEL () -